

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶれじーる		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育や活動等において、利用児に合わせた環境作りを行っている。	好きな遊びやそれぞれの発達に合わせ、お子様に合う遊びが提供できるように環境を設定している。	新しい遊びの提供や、お子様自身が取り組みたいことを提供していけるように、引き続き環境設定をしていく。
2	利用児の将来を見据えた支援を行っている。	保護者やお子様と将来の移行を確認し、それぞれに沿った支援を行っている。	職員がお子様の将来の選択肢を広げられるように、知識を高める。
3	プレイルーム、学習室と活動ごとに分かりやすい構造化を行っている。	活動で部屋分けを行い、視覚・聴覚的に環境や気持ちの切り替えができるようにしている。	引き続き、活動に合わせた環境の構造化を意識して室内整備を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域資源の活用が十分に行えていない。	他事業所の開催する企画には参加しているが、地域住民や児童館等の児童との交流が活発に行えていない。	外部との交流については、コロナ禍での対応を引き継いでいる形となっているため、今後徐々に地域の行事に参加していく。
2	施設がバリアフリー化していない。	学習室と廊下の間に段差がある。	すぐの対応が難しいため、必要に応じて職員が声掛けを行っていく。
3	職員間での情報共有に漏れがあった。	勤務時間の違い等があり、送迎後の情報共有に限度があったため、家庭からの情報に漏れが出てしまった。	朝礼や療育前後に職員間での情報共有を引き続き行い、家庭からの相談等があった場合には共有した上で、保護者への返答を徹底していく。